

アクションプラン掲載項目の具現化策意見（第2回、第3回分）

平成24年7月25日荒川地区地域審議会

テーマ1 「清流荒川」活用の具体策に係る意見

- ① 清流荒川をPRするパンフレットの作成と配布
- ② 総合運動公園を「ホタルの里」にして清流のイメージアップ
- ③ まちぐるみで取り組む「鮭の稚魚 育成・放流事業」
- ④ 釣り客受入れ態勢（漁協や旅館などのサービス等）の改善～旅館に泊まった場合は釣り券を半額にするなど
- ⑤ 「荒川米」の復活
- ⑥ 子どもが川で遊べるための取り組み（漁協、学校、PTAとの連携）
- ⑦ 鮎の塩焼きや鮭のつかみ取りをさせるイベント
- ⑧ 鮭文化を若い世代につなげていくような取り組み
- ⑨ 食べ物に関するイベント
- ⑩ キラキラフェスティバルとタイアップさせる取り組み
- ⑪ 高坪山で事業を検討してまちづくり協議会と連携する
- ⑫ 清流荒川の鮎釣りと荒川大祭を結び付ける

テーマ1以外

- ⑬ 機関車を駅前に移動させ、まちのシンボルに

平成24年11月16日荒川地区地域審議会

テーマ2 県立坂町病院の医療体制充実につながる取り組みについて

- ① 病院内で病児保育ができるような取り組み
- ② 坂町病院から地域住民に対する情報発信を促進し、地元からも情報が得られる仕組みづくり
- ③ 地元住民との交流の機会をつくる（坂町病院の資料から）
- ④ 地元行政と病院の職員連携組織をつくる

平成25年2月8日荒川地区地域審議会

テーマ3 住環境を向上させ、人が定着できるまちづくりを推進する取り組みについて

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

テーマ3

「住環境を向上させ、人が定着できるまちづくりを推進する取り組みについて」

【アクションプラン掲載文】

近隣地域のベッドタウンとして位置付け、宅地化の推進等により住環境を向上させる必要があります。

《考え方の例》

○ベッドタウンとしての魅力を考える

- ・暮らしの中に楽しみやうるおいをもたらすもの

余暇、癒しの空間、自然環境…

- ・日常生活の場としての魅力を高めるもの

子育て支援、教育、地域医療、健康づくり、高齢者支援、安全安心、交通の便、…

- ・居住地としての魅力をPRする事業

あらゆる要素が対象となる中で、何に力を入れて、どのように取り組んでいくか？

○土地施策として宅地化を考える

- ・行政による宅地化事業（ニュータウンくろっかす）

- ・遊休市有地の宅地活用等